

羅臼町観光振興ビジョン



北海道目梨郡羅臼町

平成 28 年 4 月

目 次

第 1 章 羅臼町観光振興ビジョンの基本的な考え方

- 1 羅臼町観光振興ビジョン策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 羅臼町観光振興ビジョンの目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 羅臼町観光振興ビジョンの位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 5 計画の点検・見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第 2 章 羅臼町の概況

- 1 自然・立地条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 沿革と歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 人口の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第 3 章 羅臼町の観光

- 1 羅臼町観光の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 羅臼町の観光振興における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

第 4 章 戦略的な観光振興ビジョンの展開

- 1 戦略的な観光振興ビジョンの展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

第 5 章 観光振興ビジョンの取組事業

- 1 戦略及び重点項目の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2 おもてなしの向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第 6 章 観光振興ビジョン推進体制の強化

- 1 観光振興ビジョン推進体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

参考資料

- 北海道観光入込客数（北海道経済部観光局）
- 訪日外国人来道者数（北海道経済部観光局）
- 羅臼町年度別観光入込客数
- 羅臼町における外国人宿泊客数

第1章 羅臼町観光振興ビジョンの基本的な考え方

1 羅臼町観光振興ビジョン策定の趣旨

平成24年3月、国は観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）第10条の規定に基づき、観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民経済の発展、国民生活の安定向上及び国際相互理解の増進を図るため。新たな「観光立国推進基本計画」（平成24年度～平成28年度）を閣議決定しました。北海道も「北海道観光のくにづくり条例」に基づき、観光事業者や観光関係団体、道民、道をはじめとする行政機関など、観光にかかわるすべての関係者が連携・協働して観光振興に関する施策を総合的に推進するための基本的な計画として、第3期の「北海道観光のくにづくり行動計画」（平成25年度～平成29年度）を策定しています。国が東京オリンピック開催年である2020年に、訪日外国人旅行者数2,000万人を目指し観光立国の積極的な推進を図る中で、北海道においては、外国人観光客300万人の実現に向け取り組みを進めているところであります。

当町は、基幹産業である漁業の不振が続いており、人口は少子高齢化や都市部への流出が加速しているため、自治体の機能を維持することが困難な状況になりつつある一方で、環境保全や自然保護、健康志向が高まる中で外国人観光客も年々増加し、「世界自然遺産」の特性や資源をこれまで以上に活かすことが求められています。

「羅臼町第7期総合計画」（平成28年度～平成35年度）では、『「人・まち・自然いきいき 知床創生」～魚の城下町 らうす～』を将来テーマに、知床らうすの創生・発展に向けて、これまで以上に「知床らうす」の地理的特性、自然環境や海の恵みなど、魅力的な優位性や可能性を最大限に活かしながら新たな時代にふさわしい価値観を見出し、町民、各種団体、関係機関、行政が力を合わせ、一人ひとりが生きがいを持って活動し、様々な世代の人たちが互いに支え合い、健康で豊かに暮らせるまちづくりを進めていくこととしております。

観光の振興については、2005年（平成17年）の知床の世界自然遺産登録を機に観光客の入り込みが増加し、登録初年度は約75万人が来町したところであります。登録後翌年からは入り込みが減少し、近年では50万人台で推移しており、宿泊率も20%以下で依然として通過型観光であります。

地域の魅力ある自然や食材を生かした体験観光やエコツーリズムを推進するため、知床羅臼町観光協会が主体となり、羅臼漁業協同組合や羅臼町旅館組合などと連携を図りながら各種事業を展開し、地域の経済効果を高め、交流人口の拡大と活気のあるまちづくりを進めるため、羅臼町観光振興ビジョンを策定するものです。



2 羅臼町観光振興ビジョンの目的

羅臼町観光振興ビジョンは、観光振興を通じて町民が希望するまちづくりの一躍を担うことを目的とします。

「羅臼町第 7 期総合計画」に関連して実施された町民アンケートでは、将来の羅臼町に望むこととして次のような項目が上げられました。

- 医療、保健、福祉が充実したまち
- 活気のある産業のまち
- 多くの人を訪れる観光のまち
- 美しい自然や景観に抱かれたまち

羅臼町観光振興ビジョンでは、これらの町民の希望を叶えるまちづくりの一つとして、観光振興の方向性を示します。

当町においても、少子高齢化・都市部への人口流出により人口減少が進む中で、目指すべきは交流人口の拡大であります。交流人口の拡大は観光振興に直接的な影響を及ぼすものであるため、羅臼町民一丸となって観光客の受け入れ体制を整え、自らが地域の魅力を積極的に売り込むことで、多くの観光客をこの地に呼び、地域経済を潤し、誇りと愛着の持てる町であり続けることを目指すものであります。

3 羅臼町観光振興ビジョンの位置づけ

羅臼町観光振興ビジョンは、平成 28 年度から平成 35 年度までの「羅臼町第 7 期総合計画」を基本とし、町民、行政、関係者が協働で観光振興を具体化するための指針となるものです。

4 計画期間

このビジョンの計画期間は、より長期的な展望を視野に入れながら、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間とします。

5 計画の点検・見直し

社会経済情勢の変化に適切に対応していくため、このビジョンの進捗状況を随時点検するとともに、必要に応じて見直すこととします。

第 2 章 羅臼町の概況

1 自然・立地条件

羅臼町は北海道の東北端、知床半島の東側に位置し、南は植別川を境に標津町に接し、東に国後島を望み、西北一体は標高 1,661m の羅臼岳を最高峰とする知床連山を境に斜里町と接しております。

町の面積は 397.72 k㎡ で、南北に約 64.0 k m、東西に約 8 k m と細長い地形で、町域の約 95% が森林で占められています。

海岸線から標高差が大きいため平地が少なく、川沿いに広がる平地と海岸沿いの平地に集落が形成されています。また、半島突端に向けて急峻な海岸線が多く、岬町が集落形成の東端となり、その先の相泊以北は道路も整備されてないため、交通手段も海上輸送に頼らなくてはなりません。

気候は、平成 26 年の年間平均気温が 6.1 度、月別平均気温は 1 月が最も低く -5.3 度、8 月が最も高く 18.1 度、海洋の影響を受けて寒暖の差が少なく、また、降水量は平成 26 年の月平均が 139.1 mm で、近隣地域と比較しても大きく上回り、全道でも有数の多雨地帯です。

町の特性や資源をこれまで以上に活かすことが求められている時代にあり、特に良質・安全な食糧供給基地としての重要な役割を担っている羅臼町は、海洋生態系と陸上生態系の相互関係が顕著であり、生物多様性も世界的に重要な地域であることが評価され、平成 17 年 7 月に知床半島が世界自然遺産に登録されました。

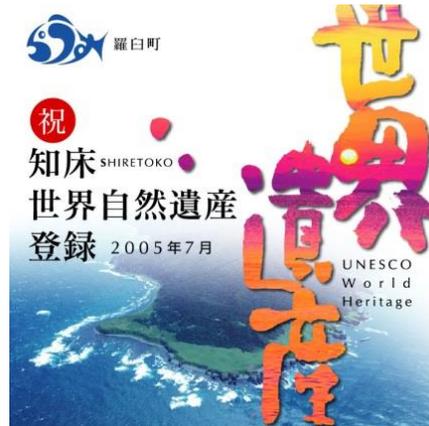
2 沿革と歴史

町名の「羅臼」は、アイヌ語の「ラウシ」（獣の骨のあるところの意）に由来し、「ラウシ」が「ラウス」に転訛して名付けられたといわれています。

町の歴史は古く、先住民族の住居跡や遺跡も数多く発見されており、地名からもわかるように、海の幸・山の幸の多い土地で漁場の開拓は、江戸時代の安永年間より始められました。目前に広がる海は、太平洋とオホーツク海の交錯する世界でも屈指の水産資源の豊富な地域であります。明治以降は富山県、石川県を中心とした本州からの移住者の増加とともに漁場の開拓がなされ、漁業を中心に発展を続けてきたところです。

明治 34 年には、標津外 6 カ村戸長役場の区域に属していた植別村が分離独立して、植別村戸長役場が設置されました。その後、昭和 5 年には、現在の町名である羅臼に村名が改称され、戦後は、千島・樺太からの引揚者の受け入れや「魚田開発事業の構想の実施」に基づく、道南方面漁民の受け入れなどにより人口増加を続け、昭和 36 年に町制が施行され現在の羅臼町になりました。

●位置及び面積



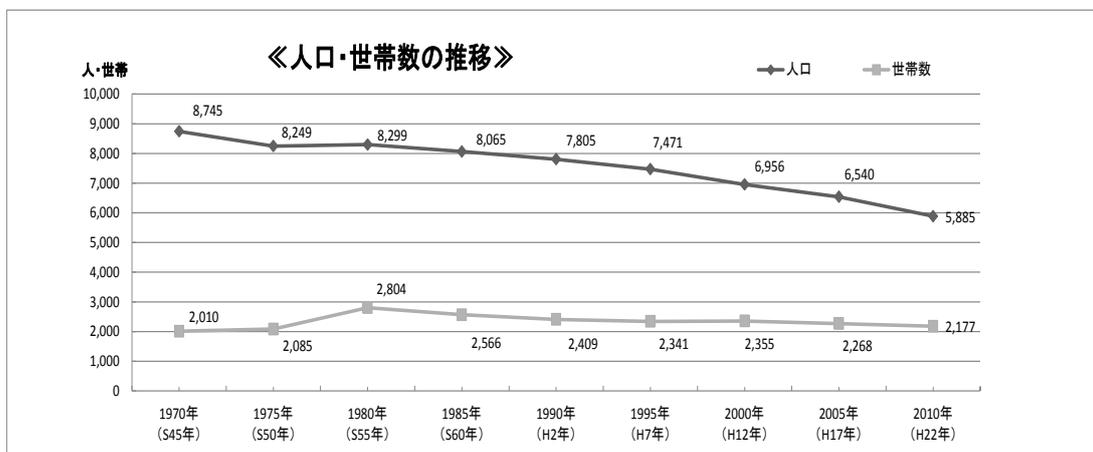
3 人口の動向

羅臼町の人口は、町制施行後の昭和40年国勢調査における8,931人をピークに、その後は年々減少傾向となっています。特に昭和45年～昭和50年にかけて大きく減少し、その後、昭和50年～昭和55年までは横ばい状態、昭和55年以降、再び減少傾向となり、徐々に人口減少率が大きくなっています。

世帯数は、昭和45年～昭和50年にかけての人口減少にもかかわらず増加傾向となり、昭和55年に2,804世帯とピークを迎え、以降、減少傾向を示し、平成12年に人口が7,000人を割り、平成22年国勢調査では、人口5,885人、世帯数2,177世帯、1世帯当たりの世帯人員は2.70人となり、人口は10%減少するなど町外流出、少子高齢化が今後の課題となっています。

人口推計では、当町の2010年の人口は5,885人となっており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では2040年に3,423人、日本創成会議では同年2,756人になると推計されているため、両機関の平均を取って、2040年に人口が3,000人程度になると推計し、また、2040年以降は年50人程度の人口減があると仮定して、2060年に2,000人の人口になると推計しています。

当町は、将来の人口を2060年で人口3,500人を維持できるよう、主要産業である漁業の振興と観光の振興、さらに少子化対策を軸として、若者の雇用の場の確保と合計特殊出生率の上昇を目指し、若い世代が将来に希望を持てるまちづくりを推進しています。



第3章 羅臼町の観光

1 羅臼町観光の現状

平成17年7月に知床が世界自然遺産に登録されてから、宿泊施設の新設や増改築、観光船の新規参入など、民間事業者による観光事業の拡大が進められていますが、観光客の入り込み状況は遺産登録の平成17年度は前年比6%と増加したものの、平成18年度は予想推計を下回り、観光客の入り込みに対する宿泊率も20%以下であり、依然として通過型の観光であります。

一方、道の駅への入り込みは一定程度確保されております。

世界自然遺産・国立公園「知床」の自然環境については、情報発信拠点として平成19年5月に新しい羅臼ビジターセンターがオープンし、利用者が増加している中、更に平成21年6月にはルサ地区に世界自然遺産の羅臼側の拠点としてフィールドハウスが建設されました。

近年では観光船事業が好調であり、ホエール・バードウォッチングや流氷観光に国内外から多くの観光客が訪れています。しかしながら外国人の宿泊者は増加しているものの、全体的な観光客の滞在型にはつながっておらず、観光客の宿泊数は減少傾向にあります。

滞在型観光を進めるためには、1日遊べる（遊びたいと思う）題材が必要で、スポーツ（釣り、シーカヤック、春山スキー、トレッキングなど）、ネイチャーウォッチング（オオワシ・オジロワシ、クジラ類など）、羅臼の生活体験（ウニ漁、コンブ干し、スケソ漁など）のメニューを幅広く充実させていくとともに、インターネットやテレビ、新聞、雑誌などを通じて、羅臼の自然や遊び、生活を積極的に発信し、多くの人々が体験し滞在してみたいくなるような情報を発信しています。

また、これらの受け入れに伴うガイド養成が急務となっております。

【羅臼町のイベント】

- 知床雪壁ウォーク：4月中旬
- 知床開き：6月第3週の土・日曜日
- らうすこんぶフェスタ：8月
- 漁火まつり：9月第3週の土・日曜日
- 羅臼町総合文化祭：9月～11月
- クナシリ眺望駅伝競走大会：10月上旬
- らうすオジロまつり：2月初旬

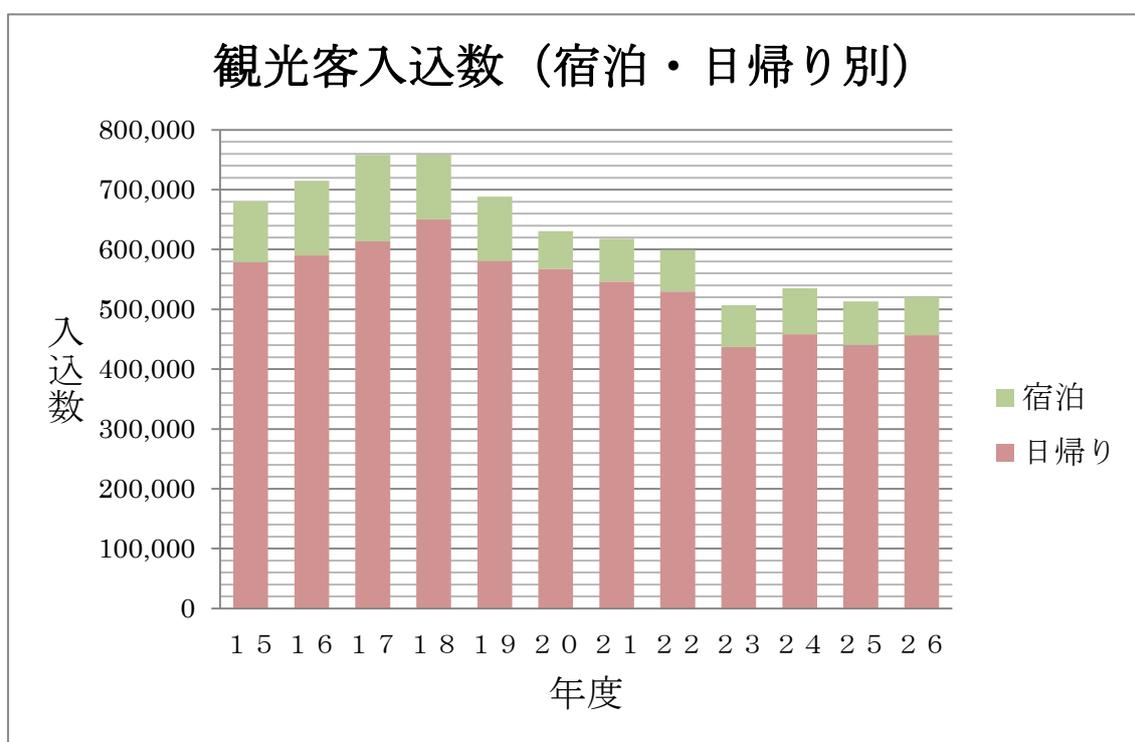


千人踊り（知床開きから）

○観光客入込数の推移

		H15	H16	H17	H18	H19	H20
入込総数		680,320	715,077	758,102	758,977	688,114	630,734
内訳	日帰り	579,135	589,912	613,725	650,479	581,175	567,524
	宿泊	101,185	125,165	144,377	108,498	106,939	63,210

		H21	H22	H23	H24	H25	H26
入込総数		617,656	599,275	506,844	535,041	513,329	520,530
内訳	日帰り	546,091	529,850	436,765	458,373	440,450	456,539
	宿泊	71,565	69,425	70,079	76,668	72,879	63,991



○外国人観光客の宿泊推移

		H15	H16	H17	H18	H19	H20
入込総数		65	110	106	345	248	391
内訳	上半期	18	63	50	90	109	215
	下半期	47	47	56	255	139	176

		H21	H22	H23	H24	H25	H26
入込総数		275	542	422	665	760	1,234
内訳	上半期	109	179	95	253	242	366
	下半期	166	363	327	412	518	868

2 羅臼町の観光振興における課題

課題① 通過型観光からの脱却

当町は交通アクセスが充分整備されてないこともあり、以前として通過型観光から脱却できていないことから、羅臼町を十分に堪能し長期滞在してもらうためには、地域資源を活かした体験型観光メニュー開発を図り、滞在型観光の振興に努める必要があります。

課題② 通年観光の平準化

繁忙期と閑散期の差が激しく、4月～6月及び10月～1月の閑散期におけるプログラム開発や外国人観光客誘致など、通年観光の平準化が重要な課題のひとつとなっています。

課題③ 受入れ体制の整備と観光ガイドの養成

ホエールウォッチング等による観光船事業の定着や修学旅行等の誘致、につぼん丸の寄港など、交流人口の拡大が図られつつありますが、天候に左右される場合もあるため、屋内や陸上での代替プログラムの設定も必要であり、更に恵まれた資源と地域の特色を生かした他の町では体験できないオンリーワンの本物体験事業の開発や外国人観光客の受入れ体制の整備、観光ガイドの養成が求められています。

当町の観光客の受け入れ体制については、まだまだ充分とは言えず、繁忙期の観光ガイドや外国人に対応可能な人材の確保、インバウンドの受け入れに向けた町内案内看板などの環境整備も急務となっています。

また、町内を運行する交通機関は定期バスとハイヤーしかないため、移動交通手段が不便であり、観光客等の足となる交通手段の確保が課題となっています。

課題④ お客様の視点

観光客及び旅行会社は、「羅臼町がどのような町で、どんな体験ができ、何が食べられるのか」などあまり情報を得られていないのが現状であるため、旅行者ニーズの把握と積極的な情報の発信を行っていく必要があります。



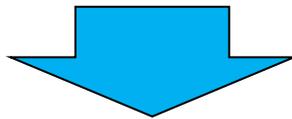
第 4 章 戦略的な観光振興ビジョンの展開

1 戦略的な観光振興ビジョンの展開

中・長期的な視点による観光振興ビジョンを戦略的に計画立案して展開します。

戦略項目	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30～31 年度
交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・観光DVDの作成と活用 ・観光PR活動 ・羅臼PR用のお土産（お菓子）製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・AG営業 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・AG営業 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PR活動 ・AG営業
観光ガイド養成	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の先進地視察研修 ・外国人観光客に対応したネイチャーガイド研修 ・多言語看板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客に対応したネイチャーガイド研修 ・ネイチャーツアーの開催 ・エコツーリズム事業の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客に対応したネイチャーガイド研修 ・ネイチャーツアーの開催 ・エコツーリズム事業の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド養成の確立に向けた各取り組みの継続実施
修学旅行の受入	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致強化 ・受入れ態勢の充実 ・新たなプログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致強化 ・受入れ態勢の充実 ・新たなプログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致強化 ・受入れ態勢の充実 ・新たなプログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致強化 ・受入れ態勢の充実 ・新たなプログラムの検討

【羅臼町総合戦略（平成 27 年 10 月策定）から一部抜粋】



《羅臼町への新しい人の流れをつくる》

活気に満ちたまちの姿

観光客等の流入による交流人口の拡大と地域産業の振興及び活性化

第5章 観光振興ビジョンの取組事業

1 戦略及び重点項目の取組

取組① 交流人口の拡大事業（総合戦略項目）

知床羅臼町観光協会と連携し、各観光イベントの出展等でPR活動を実施することで、交流人口の拡大を図ります。

取組② 観光ガイドの養成事業（総合戦略項目）

当町と気候、野生動物、植生及び地形等が酷似している世界的にもエコツアーの先進地域を視察し、観光客へのマネージメントや観光素材の見せ方と保護との両立という世界最先端の手法を学んだネイチャーガイドが、視察で得たノウハウを研修会等で町民ガイド等に対して還元することで、観光ガイドを育成し、今後の受け入れ態勢の充実を図ります。

取組③ 修学旅行受け入れ体制の充実（総合戦略項目）

知床羅臼町体験学習推進協議会を中心に関係団体と連携し、修学旅行の誘致・受け入れ体制、プログラムの充実を図ります。

取組④ 観光地としての魅力づくり・滞在型観光の推進（重点項目）

魅力的なサービスやプログラムの観光商品化、土産品などのブラッシュアップに取り組み、新たな需要創出による消費喚起と滞在日数の増加を図ります。

閑散期における観光客の誘致、天候に左右されないプログラムの開発、エコツアー参加者等の移動交通手段の確立を進め、通年平準化と滞在型観光を目指します。

取組⑤ エコツーリズムの充実（重点項目）

生態系の豊かなつながりや生物多様性を実感できる「体験プログラム」及び自然と漁業の共生を伝える「漁業エコツーリズムプログラム」等、エコツーリズムの充実を図り、質の向上に向けたガイド事業者の育成に取り組みます。

取組⑥ 戦略的な宣伝誘致活動と羅臼ファンの獲得（重点項目）

ターゲット「5W2H（誰が・何を・いつ・どこで・どうして・どのように・いくらで）」整理の浸透・習慣化を図り、限られた財源を最大限に活かす戦略的な宣伝誘致活動を行うとともに、一体的で効果的な情報発信により潜在ニーズを顕在化させ、新たな羅臼ファンの獲得を目指します。

2 おもてなしの向上

①宿泊観光サービス向上への取組

平成 27 年 12 月末現在の宿泊施設は、ホテル・旅館・民宿等合わせて 28 軒、収容人員が 932 人となっておりますが、土地が少ないことから今後も新しい宿泊施設の建設はないと想定されます。

他の観光地と差別化する要素としては、「接客サービス」「料理」「お土産」「周辺の活性化による観光付加価値を高める」等がありますが、より満足が得られるためのサービス水準の向上を目指します。

また、エコツーリズムや体験型観光への志向が強まっていることから、国立公園を背景とした自然環境に恵まれた立地条件を生かした取り組みを進めます。

迎え入れる側の対応として、個人旅行者への情報発信機能の充実に加え、ガイドの育成、外国語による案内板の整備、外国人受入体制の整備、接客サービスの向上等、多くの課題に取り組み、観光関係者のみではなく、羅臼町全体で旅行者を受け入れられるよう地域が連帯感を持った活動を促進していきます。

②日帰り観光サービス向上への取組

観光客入込みの 80%以上を占める日帰り客への対策も、観光の活性化のための大きな要素と位置付ける必要があります。これらの動向にも調査研究に努め、日帰り観光客のニーズを把握することが重要であり、そこから魅力ある知床羅臼として認知される事でリピーターを増やし、今後の全体的な入り込みと宿泊客の増加に結びつくような取り組みを検討します。



第6章 観光振興ビジョン推進体制の強化

1 観光振興ビジョン推進体制の強化

羅臼町観光振興ビジョンを推進するためには、観光関係者ばかりでなく、地域全体で観光客を迎える仕掛けが必要であり、地域住民との連携は大きな要素と思われます。

観光により地域を活性化するためには、広く観光についての関心と理解を深めるとともに、知床羅臼町観光協会を中心に各関係団体や関連業界との連携し、町を挙げて観光振興に取り組む体制を強化します。

(町民は・・・)

羅臼町民は、観光が交流人口の増大と地場製品の消費拡大につながる地域経済に重要な産業であり、新たな雇用創出など地域づくりに大きな効果をもたらす一つであることを認識し、羅臼町民が一丸となって「おもてなし」の心を持ち、旅行者を受け入れられるような魅力ある町づくりを進めます。

(観光事業者は・・・)

観光事業者、宿泊業、飲食業、商店など観光に関わるすべての事業者は、羅臼町の観光振興を推進する「最前線」にあり、最高の商品とサービスを提供するプロ意識を持ち、密接な連携を図りながら観光振興の向上と地域経済への貢献に努め、国立公園を背景とした自然環境に恵まれた立地条件を生かした取り組みを進めます。

(観光協会は・・・)

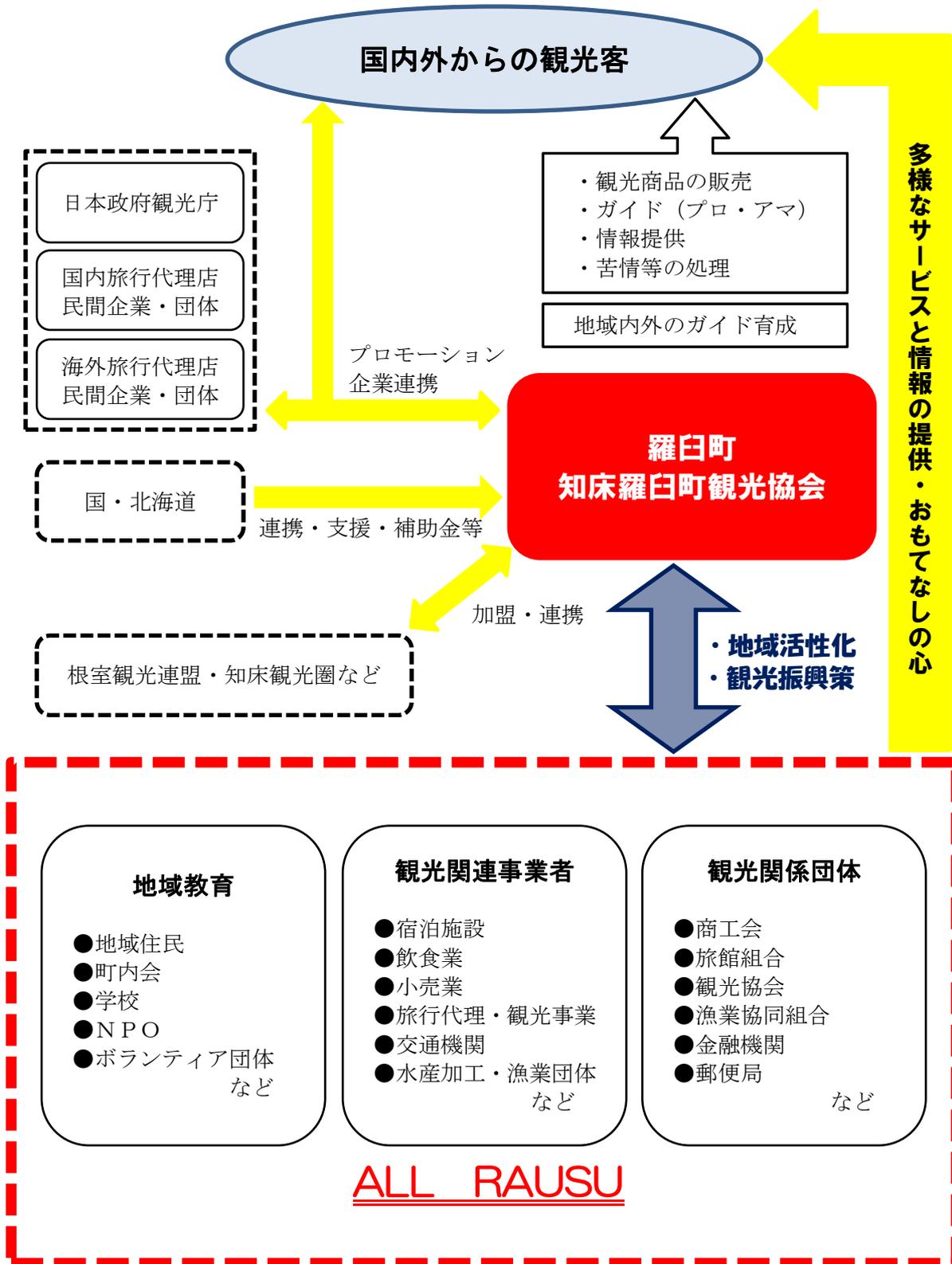
羅臼町の観光を支える情報発信の中心的役割である観光協会は、観光に係る事業をサポートするとともに、観光事業者や各団体との連携や調整を図り、観光客のニーズにあった情報の収集と提供を行い、羅臼町の観光振興の活性化を進めます。

(行政は・・・)

基幹産業である漁業の不振が続き、少子高齢化・都市部への人口流出が加速している羅臼町は、観光を将来の主要産業の一つとして認識し、観光振興の主体的及び広域的な取り組みを進めます。

また、「知床らうす」の地理的特性や自然環境、海の恵みなど魅力的な優位性や可能性を最大限に活かし、地域の魅力ある自然や食材を生かした体験観光やエコツーリズムを進めるとともに、観光協会や観光事業者等の取り組みを積極的に支援し、地域の経済効果を高め、交流人口の増加による定住人口の拡大と活気のあるまちづくりを進めます。

《推進体制イメージ》



参 考 资 料

- 北海道観光入込客数（北海道経済部観光局）
- 訪日外国人来道者数（北海道経済部観光局）
- 羅臼町年度別観光入込客数
- 羅臼町における外国人宿泊客数

北海道観光入込客数(実人数)の推移

(北海道経済部観光局)

(単位: 万人、%)

年 度	総 数	前年度 対比	内 訳						備 考
			道 外 客			道 内 客			
			日帰り客	宿泊客		日帰り客	宿泊客		
平成9年度	4,850	-	596	3	593	4,254	3,343	911	
平成10年度	4,956	101.8	609	3	606	4,347	3,425	922	
平成11年度	5,149	103.0	635	3	632	4,515	3,584	931	
平成12年度	4,862	94.4	596	3	593	4,266	3,393	873	有珠山噴火
平成13年度	5,041	103.7	627	3	624	4,414	3,504	911	
平成14年度	5,009	99.4	638	3	635	4,370	3,495	875	
平成15年度	4,939	98.6	635	2	633	4,304	3,439	865	
平成16年度	4,839	98.0	632	2	630	4,207	3,346	861	
平成17年度	4,813	99.5	635	2	633	4,178	3,334	844	知床世界自然遺産登録
平成18年度	4,909	102.0	659	2	657	4,250	3,393	857	
平成19年度	4,958	101.0	649	2	647	4,309	3,532	777	北海道洞爺湖サミット開催決定
平成20年度	4,707	94.9	628	2	626	4,079	3,297	781	サミット開催、ガソリン等の高騰、世界的な景気後退、 急激な円高
平成21年度	4,682	99.5	597	2	595	4,085	3,326	758	高速道路割引、世界的な景気後退、円高、 新型インフルエンザの流行
平成22年度	5,127	(99.1)	595	13	583	4,532	3,584	949	APEC貿易担当大臣会合、東北新幹線新青森駅開業、 口蹄疫の影響、東日本大震災
平成23年度	4,612	90.0	544	6	538	4,068	3,142	926	東日本大震災の影響、修学旅行先の道内への振替え、 避暑目的長期滞在客増、自粛ムードの緩和
平成24年度	5,098	110.5	623	13	610	4,475	3,513	962	観光需要の回復、デスティネーションキャンペーン、 高速自動車道の開通区間の延長、5月と冬の悪天候
平成25年度	5,310	104.2	680	12	668	4,629	3,646	983	景気の緩やかな回復、集客力のある大規模イベント、 4月の低温、JR特急列車の一部運休
平成26年度	5,377	101.3	723	13	710	4,654	3,655	999	JR特急列車の運行再開、道外航空路線の夏限定運航 8月・9月の大雨や幹線道路の通行止め、12月・1月の暴風雪

注1) 数字は四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

注2) 平成9年度から実人数を調査

注3) 調査対象市町村数

・平成9、10年度: 202市町村 ・平成11～15年度: 全212市町村 ・平成16～17年度: 全208市町村 ・平成18年度～: 全180市町村 ・平成22年度～: 全179市町村

注4) 平成22年度から新算定方式により調査

・平成22年度の「対前年度比」は、旧方式により算出

訪日外国人来道者数(実人数)の推移

(北海道経済部観光局)

上段:人数(人)、下段:前年度対比(%)

年 度	総 数	内														不明 その他							
		ア ジ ア										ヨ-ロッパ			北米		中南米		アフリカ		オセアニア		
		中国	韓国	台湾	香港	シンガ ポール	その他アジア			小計	ロシア	その他	米国	カナダ					豪州	その他			
					マレーシア	タイ	その他																
平成9年度	118,600	2,200	15,700	52,800	10,000	1,400	2,800			84,900	7,300	7,500	8,700	1,000	700	400		3,300	4,800				
(1997年度)	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
平成10年度	170,300	1,900	10,800	93,700	15,200	1,450	3,650			126,700	5,700	8,100	8,100	750	900	450		2,600	17,000				
(1998年度)	140.9	86.4	65.5	177.5	132.2	103.6	130.4			145.3	78.1	108.0	93.1	75.0	128.6	112.5	-	-	354.2				
平成11年度	204,200	2,000	17,800	121,100	20,900	1,200	2,750			165,750	6,400	7,200	7,400	1,000	500	400		2,950	12,600				
(1999年度)	119.7	110.5	164.8	129.0	136.8	82.8	75.3			130.7	112.3	88.9	90.7	133.3	55.6	88.9	-	111.5	74.1				
平成12年度	206,600	2,400	19,900	109,700	29,400	1,400	4,800			167,600	6,100	9,350	8,350	1,050	650	400		3,700	8,950				
(2000年度)	101.3	114.3	111.8	90.7	141.3	116.7	174.5			101.2	95.3	129.9	113.6	105.0	130.0	100.0	127.6	-	71.0				
平成13年度	236,100	3,900	27,850	119,450	45,900	1,550	3,900			202,550	6,100	6,800	6,950	950	450	400		1,550	500	9,850			
(2001年度)	114.3	162.5	139.9	108.9	156.1	110.7	81.3			120.9	100.0	72.7	83.2	90.5	69.2	100.0	41.9	111.1	110.1				
平成14年度	279,350	5,200	41,900	133,200	55,450	2,250	4,800			242,800	6,800	10,650	7,500	850	1,750	450		2,230	370	5,950			
(2002年度)	118.3	133.3	150.4	111.5	120.8	145.2	123.1			119.9	111.5	156.6	107.9	89.5	388.9	112.5	143.9	74.0	60.4				
平成15年度	293,780	5,800	61,200	119,750	56,600	4,000	4,200			251,550	6,950	6,400	7,850	930	400	350		7,550	550	11,250			
(2003年度)	105.2	111.5	146.1	89.9	102.1	177.8	87.5			103.6	102.2	60.1	104.7	109.4	22.9	77.8	338.6	148.6	189.1				
平成16年度	427,050	12,050	63,850	208,600	82,750	6,000	5,250			378,500	6,700	6,200	9,100	1,100	400	300		14,650	800	9,300			
(2004年度)	145.4	207.8	104.3	174.2	146.2	150.0	125.0			150.5	96.4	96.9	115.9	118.3	100.0	85.7	194.0	145.5	82.7				
平成17年度	513,650	15,650	70,050	278,800	86,500	11,800	5,650			466,450	5,900	6,850	8,750	950	450	300		18,900	700	4,400			
(2005年度)	120.3	129.9	109.7	132.7	104.5	196.7	107.6			123.2	88.1	110.5	96.2	86.4	112.5	100.0	129.0	87.5	47.3				
平成18年度	590,650	17,350	133,850	267,900	86,050	18,950	10,350			534,450	5,850	9,550	9,700	1,350	400	400		22,950	800	5,200			
(2006年度)	115.0	110.9	191.1	96.8	99.5	160.6	183.2			114.6	99.2	139.4	110.9	142.1	88.9	133.3	121.4	114.3	118.2				
平成19年度	710,950	26,950	169,300	277,400	108,000	37,150	4,550	2,150	7,300	632,800	6,050	8,400	10,850	1,350	450	400		33,350	1,150	16,150			
(2007年度)	120.4	155.3	126.5	103.5	125.5	196.0	(135.3)			118.4	103.4	88.0	111.9	100.0	112.5	100.0	145.3	143.8	310.6				
平成20年度	689,150	47,400	139,100	227,600	126,000	45,300	10,300	3,800	8,800	608,300	6,900	12,500	14,350	2,100	850	500		29,450	1,350	12,850			
(2008年度)	96.9	175.9	82.2	82.0	116.7	121.9	226.4	176.7	120.5	96.1	114.0	148.8	132.3	155.6	188.9	125.0	88.3	117.4	79.6				
平成21年度	675,350	92,700	135,300	180,850	127,550	40,450	8,400	6,300	10,550	602,100	5,050	11,200	12,700	2,000	500	450		32,100	2,650	6,600			
(2009年度)	98.0	195.6	97.3	79.5	101.2	89.3	81.6	165.8	119.9	99.0	73.2	89.6	88.5	95.2	58.8	90.0	109.0	196.3	51.4				
平成22年度	741,700	135,500	148,900	183,700	87,100	28,800	21,700	18,400	-	624,100	11,300	-	21,200	9,300	-	-		25,600	-	50,200			
(2010年度)	113.0	127.6	121.9	109.3	101.0	107.9	193.8	140.5	-	117.0	120.2	-	91.4	96.9	-	-		75.5	-	107.3			
平成23年度	569,700	101,400	89,700	191,200	56,200	17,700	12,400	9,700	-	478,300	7,400	-	16,300	6,600	-	-		20,500	-	40,600			
(2011年度)	76.8	74.8	60.2	104.1	64.5	61.5	57.1	52.7	-	76.8	65.5	-	76.9	71.0	-	-		80.1	-	80.9			
平成24年度	790,400	102,200	123,600	280,800	72,600	23,500	22,000	37,000	-	661,700	11,100	-	23,700	9,400	-	-		29,400	-	55,100			
(2012年度)	138.7	100.8	137.8	146.9	129.2	132.8	177.4	381.4	-	138.3	150.0	-	145.4	142.4	-	-		143.4	-	135.7			
平成25年度	1,153,100	158,300	141,600	415,600	107,300	35,600	36,400	98,800	-	993,600	13,100	-	33,500	10,700	-	-		35,400	-	66,800			
(2013年度)	145.9	154.9	114.6	148.0	147.8	151.5	165.5	287.0	-	150.2	118.0	-	141.4	113.8	-	-		120.4	-	121.2			
平成26年度	1,541,300	340,000	201,100	472,700	120,200	40,900	49,300	128,300	-	#####	12,800	-	41,800	13,700	-	-		38,700	-	81,800			
(2014年度)	133.7	214.8	142.0	113.7	112.0	114.9	135.4	129.9	-	136.1	97.7	-	124.8	128.0	-	-		109.3	-	122.5			

注) 訪日外国人来道者数(実人数)は、平成9年度から発表

注) 調査対象市町村数 平成9年度及び10年度:202市町村、平成11~17年度:全212市町村、平成18年度~:全180市町村、平成22年度~:全179市町村

注) 平成22年度から新算定方式により調査(平成22年度の前年度対比は、前年度分を新方式により算定し直して算出)

羅臼町年度別観光入込客数

(単位:人)

年別	入込総数	定期バス	貸切バス	乗用車外	観光船	計		左の内訳		宿泊の内訳			
						道内	道外	日帰り	宿泊	温泉	市街	民宿	キャンプ
9	649,796	21,778	217,611	410,407	-	429,092	220,704	502,091	147,705	42,772	8,394	17,783	78,756
10	611,076	14,246	228,787	368,043	-	369,359	241,717	479,021	132,055	29,077	9,511	18,687	74,780
11	653,668	13,375	205,717	434,576	-	406,798	246,870	528,920	124,748	29,056	6,822	14,591	74,279
12	630,269	23,233	155,706	451,330	-	414,784	215,485	519,922	110,347	17,889	6,093	13,131	73,234
13	678,105	11,879	182,083	484,143	-	465,421	212,684	567,955	110,150	20,341	3,702	13,106	73,001
14	665,678	5,996	164,261	495,421	-	460,007	205,671	560,717	104,961	18,147	4,998	14,734	67,082
15	680,320	7,183	163,535	509,602	-	422,070	258,250	579,135	101,185	17,248	4,667	14,323	64,947
16	715,077	6,127	154,442	554,508	-	448,660	266,417	589,912	125,165	15,798	7,955	18,459	82,953
17	758,102	8,413	206,398	543,291	-	465,749	292,353	613,725	144,377	17,908	9,696	16,921	99,852
18	758,977	8,613	216,593	533,771	-	473,981	284,996	650,479	108,498	15,769	10,460	16,559	65,710
19	688,114	6,628	170,678	510,808	-	440,878	247,236	581,175	106,939	12,140	12,577	14,024	68,198
20	630,734	7,528	159,888	463,318	-	409,302	221,432	567,524	63,210	12,055	7,296	14,473	29,386
21	617,656	7,147	122,522	487,987	-	407,236	210,420	546,091	71,565	12,213	11,589	14,144	33,619
22	599,275	5,479	104,156	489,640	-	410,140	189,135	529,850	69,425	12,173	13,689	13,034	30,529
23	506,844	5,047	91,022	410,775	(15,651)	345,713	161,131	436,765	70,079	11,423	14,682	14,185	29,789
24	535,041	5,449	97,070	432,522	(21,268)	351,705	183,336	458,373	76,668	14,950	17,208	13,788	30,722
25	513,329	5,396	79,087	428,846	(20,991)	348,266	165,063	440,450	72,879	14,448	21,890	14,253	22,288
26	520,530	5,248	96,680	418,602	(22,082)	352,716	167,814	456,539	63,991	12,562	16,905	13,542	20,982

